

スパリゾートハワイアンズで、震災を経験した地元の商店街の人々や、震災時に人命救助にあたった警察官など、60人が語り部として集まり、生徒たちと震災当時の状況と現状、今後の課題について話し合うグループトークが行われました。生徒たちは、自分たちが震災復興や震災を風化させないためには何ができるかなどの意見交換を行い、今回の東北研修旅行で学んだことや感想を発表しました。



●**スパリゾートハワイアンズ**
一年中常夏気分を楽しめる大型温泉レジャー施設です。震災当時の被害を乗り越え、観光復興の先駆けとなった現在までの道のりを知る講演も行っています。



東北研修旅行を終えた生徒の感想

- 被災地視察では震災当時の被害状況など、色々な話を聞いて心が痛かったです。しかし、地元の方々はとても明るく、震災があったという事実を受け止めてこれからのことを考えていました。また、テレビで見た津波の現場を実際に訪れましたが、報道では伝わらないその場所の空気や、人々の気持ちを感じることができました。
- 将来の東北の為に何が出来るか、自分も福島県民の一人と考え、物事を見ることが重要だと感じました。私たちが今回の研修で見たことや感じたことを持ち帰って、福岡で発信することも復興に繋がると思います。
- 震災から3年が経ちましたが、原発事故のためまだ復興が進んでいない地域があり、被害を受けた人々の心の傷が深いのではと思っていました。しかし、被災地で復興を信じ、明日に向かって前向きに生きている人々の姿を見て、福島に対するイメージが大きく変わりました。

学校紹介

福岡県立修猷館高等学校 (福岡県福岡市)

「被災地の現状を積極的に知ることで、危機管理について学び、将来の日本を背負う『世のため人のため』に尽くせる人材を育てること」を目的に、東日本大震災後の2012年1月から、被災地での東北研修旅行を実施しています。今回の東北研修旅行は福島県で実施され、福岡県から震災後の福島県に教育旅行で訪れた第1校目となりました。



VOICE

ふくしまへメッセージ



福岡県立修猷館高等学校 校長 **奥山 訓近** 先生

実際に福島県を訪れ、震災に負けず、前進しているその姿から私たちが逆に元気をもらいました。「福島の現状と課題」そして「福島の人の生き方」を生徒たちは今回の研修旅行を通して学ぶことができたと思います。また、生徒1人1人が復興についての自分の意見や考えをもつ良い機会となりました。



福岡県立修猷館高等学校 指導教諭 **平野 義和** 先生
(教養部長 兼 第二学年主任)

いわき市や会津若松市で行った研修から、福島県は同じ被災地の宮城県とは異なる事情を抱えていることを知ることができ、生徒にとっても大変貴重な経験となりました。生徒だけではなく、私たちが福島県を訪れて感じたことを身近なところから伝えていきたいと思っています。

ふくしまで体験!

震災により福島県はさまざまな被害を受けました。現在はその経験や災害から得た教訓を風化させない取組みが盛んに行われ、復興に向け前進する人々の姿を見ることができます。「今の福島」に会いにきてください。

注目体験

いわき市小名浜地区復興支援ボランティアセンター

福島再生の願いを込めたオーガニックコットン

震災後、瓦礫撤去や土砂の処理などの活動を行っていた施設で、現在は被災者に対する生活復興支援を実施しています。また、風評被害で耕作されなくなった農地で塩害に強いオーガニックコットン栽培を行い、農業の再生に取組んでいます。被災地視察やコットン栽培の体験が可能です。



お問い合わせ

〒971-8169 福島県いわき市小名浜南君ヶ塚町14-2
TEL/FAX: 0246-92-4298
URL: <http://onahama-volunteer.jimdo.com/>

感じる

注目体験

浜風商店街

商店街の人々と触れあいながら学ぶ震災体験

いわき市の最北端に位置する港町、久之浜町は、震災時の地震、津波に加え、火災の被害も甚大でした。多くの苦難を乗り越え、久之浜第一小学校敷地内に震災後初の仮設商店街「浜風商店街」はオープンしました。仮設店舗で頑張る商店の人たちとの交流のなかで、震災と復興の歩みについて聞くことができます。



お問い合わせ

〒979-0333 福島県いわき市久之浜町久之浜糠塚15 (久之浜第一小学校敷地内)
TEL: 0246-82-3131 (久之浜町商工会) FAX: 0246-82-3236
URL: <http://hisanoahama-shops.com/>

学ぶ